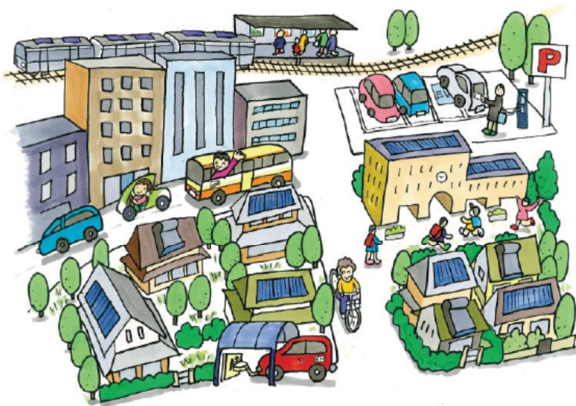


平成30年度

安城市環境報告書

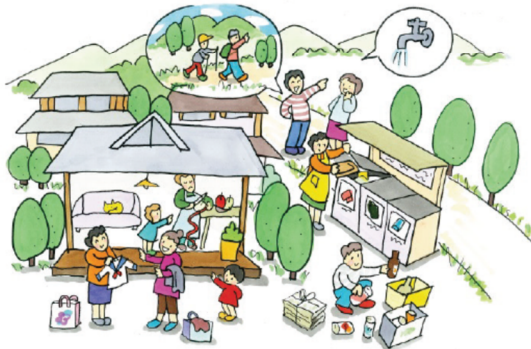
低炭素なまちをつくる



暮らしと自然を守るまちをつくる



資源が循環するまちをつくる



市民みんなが行動するまちをつくる



第 1 章 安城市環境基本計画について

1.1 計画の背景と方針

安城市環境基本計画は、平成13年3月に平成32年度を目標年次とした計画期間20年の長期計画として策定しました。

平成28年4月に、地球温暖化防止の観点からエネルギー関連施策の拡充、持続可能なまちづくりに向けた取組みの重点化及び国・県等の関連計画との整合を図ることを基本方針として計画の改定を実施し、新たに計画の目指すまちの将来像を「環境負荷の少ない、人と自然が共生する、良好な環境が持続的に発展するまち」としています。今後、計画の最終年次である平成32年度に向けて、計画を進捗していきます。

1.2 基本目標

まちの将来像を実現するための柱として、次の4つの基本目標を設定します。

基本目標 1 低炭素なまちをつくる

生活や移動におけるエネルギーの利用、経済活動といった日常の各場面で、市民・事業者・市が、二酸化炭素排出量の削減につながる行動に取り組むことで「低炭素なまち」を目指していきます。

基本目標 2 暮らしと自然を守るまちをつくる

市民・事業者・市が、身近な生活環境の質の向上について考え、行動することで、市民の「暮らし」と安城の「自然」が守られるまちを目指していきます。

基本目標 3 資源が循環するまちをつくる

モノを買うとき、捨てるとき、そして水を使うときに、市民・事業者・市が、資源の循環について考え、行動することができる「資源が循環するまち」を目指していきます。

基本目標 4 市民みんなが行動するまちをつくる

市民・事業者・市が、環境問題を「自分の問題」として意識することで、この環境を次代に引継ぐことのできる、持続可能な社会の姿「市民みんなが行動するまち」を目指していきます。

1.3 施策の体系

本計画では、「基本目標」をさらに分野別に細分化したものを「分野別目標」とし、分野別目標を達成するための施策群を「基本的施策」として定めました。

基本目標１ 低炭素なまちをつくる

分野別目標	基本的施策
(１) エネルギーの効率的な利用	①省エネルギーの推進
	②エネルギーの地産地消の推進
(２) 適切な交通手段の選択	①環境に優しい自動車の利用促進
	②自転車の利用促進
	③公共交通機関の利用促進
(３) 環境と調和した事業活動の促進	①事業者の取組み支援

基本目標２ 暮らしと自然を守るまちをつくる

分野別目標	基本的施策
(１) 快適な暮らしの実現	①公害の防止
	②安全・安心で快適な生活環境の向上
	③緑あふれる美しい都市景観づくり
(２) 自然との共生	①生物多様性の保全
	②水辺の環境保全
(３) 農のある暮らしづくり	①農に親しむ環境づくり
	②農と環境の保全

基本目標３ 資源が循環するまちをつくる

分野別目標	基本的施策
(１) 資源の循環	①２Ｒ（リデュース・リユース）の推進
	②リサイクルの推進
(２) ごみ減量の推進	①ごみ分別、減量の徹底
(３) 水循環の保全	①水資源の保全と意識の向上

基本目標４ 市民みんなが行動するまちをつくる

分野別目標	基本的施策
(１) 次代につなぐ人づくり	①環境学習の推進
(２) 参加と協働の推進	①多様な主体による環境活動の推進

第2章 各主体の活動状況について

計画を推進するためには、市だけでなく、市民、事業者等の関連主体も目標に向けて参画するとともに、お互いが連携、協働していく必要があります。平成29年度の関連主体による活動状況を紹介します。

2.1 低炭素なまちをつくる

安城カーシェアリング実証事業「き～☆モビ」

排出ガスを出さない超小型電気自動車の共同利用事業を実施。



会員数：1,323人（平成30年3月31日現在）

関連主体：安城市創蓄省エネルギー・プロジェクト推進協議会（安城市、株式会社デンソー、豊田通商株式会社、安城商工会議所、株式会社安城スタイル、株式会社日本総合研究所で構成）

2.2 暮らしと自然を守るまちをつくる

水田での生物多様性確保の取組

生物多様性冬水田んぼ



関連主体：エコネットあんじょう

2.3 資源が循環するまちをつくる

水源の森散策マップ作り



開催日：平成29年8月20日・10月21日

関連主体：エコネットあんじょう

第3章 成果指標と各施策の進捗状況

平成 29 年度の成果指標及び各施策の進捗状況について掲載します。

実績欄の件数・回数・人数等は、特に注釈のない場合、1 年間の実績値となっています。

なお、本報告書では、環境基本計画改定時の表記に合わせ、平成 31 年以降も、便宜上、平成表記としています。

3.1 低炭素なまちをつくる

（１）エネルギーの効率的な利用 ①省エネルギーの推進

【成果指標】

指標名	現状値（平成 29 年度）	目標値（平成 32 年度）
1 人 1 日あたり家庭用電気使用量	5.44kWh	5.47 kWh
指標の見方		
市内で使用される一般家庭用電気使用量を人口 1 人 1 日あたりで計算したものです。 電気使用量が削減されることにより、発電する際に発生する二酸化炭素排出量の削減を図ることができます。		

【各施策における事業の進捗状況】

1111 省エネルギー型住宅の普及支援

事業名	実績	担当課
スマートハウス普及促進補助金制度	補助金交付件数（448件）	環境都市推進課
省エネ改修（熱損失防止改修工事）を行った住宅の固定資産税減額	固定資産税減額対象件数（1件）	資産税課

1112 省エネルギー機器の導入推進

事業名	実績	担当課
防犯灯の LED 化	LED 化率（47.6%）	市民安全課

1113 省エネルギー効果の情報提供

事業名	実績	担当課
西三河首長誓約推進協議会	参加する 5 市（豊田市、岡崎市、安城市、知立市、みよし市）でクールシェア事業を実施	環境都市推進課

（１）エネルギーの効率的な利用 ②エネルギーの地産地消の推進

【成果指標】

指標名	現状値（平成29年度）	目標値（平成32年度）
市内での再生可能エネルギーによる発電容量の合計	45,491kw	66,000kw
指標の見方		
市内の家庭・事業者が電気事業者と電力受給契約を締結した発電設備容量の合計です。 発電量が増えることで、市内におけるエネルギーの地産地消の普及が進みます。		

【各施策における事業の進捗状況】

1121 住宅等への再生可能エネルギーの導入支援

事業名	実績	担当課
住宅用太陽熱温水器設置補助金制度	補助金交付件数（7件）	環境都市推進課
住宅用太陽熱高度利用システム設置補助金制度	補助金交付件数（4件）	環境都市推進課
スマートハウス普及促進補助金制度	補助金交付件数（235件） ※太陽光発電のみ再掲	環境都市推進課

1122 公共施設等の再生可能エネルギーの利活用

事業名	実績	担当課
公共施設への再生可能エネルギー発電の導入	発電量（3347.9kwh）	環境都市推進課

（２）適切な交通手段の選択 ①環境に優しい自動車の利用促進

【成果指標】

指標名	現状値（平成29年度）	目標値（平成32年度）
市内における次世代自動車普及台数	168台	500台
指標の見方		
平成28年度から平成32年度の5年間に市内で登録される電気自動車・プラグインハイブリッド自動車・燃料電池自動車の台数の累計です。走行時の環境負荷が少ない自動車の浸透状況を示します。		

【各施策における事業の進捗状況】

1211 次世代自動車の普及促進

事業名	実績	担当課
EV・PHV用充電スタンドの運用	安城市役所（1基） 道の駅デンプーク（2基） 安城市北部公民館（1基） 安城市明祥プラザ（1基） 堀内公園（1基）	環境都市推進課
次世代自動車購入費補助金制度	補助件数（110件）	環境都市推進課

1212 自動車の新しい利用方法の提案

事業名	実績	担当課
安城カーシェアリング実証事業「き～☆モビ」	会員数（1,323人）	環境都市推進課
イベント等における次世代自動車普及啓発事業	総合防災訓練で電気自動車の電力を利用したバルーン照明を展示	危機管理課

1213 次世代自動車の啓発

事業名	実績	担当課
公用車への低公害車両の導入	更新台数（6台）	環境都市推進課

（２）適切な交通手段の選択 ②自転車の利用促進

【成果指標】

指標名	現状値（平成29年度）	目標値（平成32年度）
市内の移動で自転車を利用する人の割合	10.5%	9.5%
指標の見方		
通勤・通学以外で市内を移動する際、主な交通手段として自転車を利用する人の割合です。		

【各施策における事業の進捗状況】

1221 自転車利用のきっかけづくり

事業名	実績	担当課
エコサイクルシティ計画	改定を実施	都市計画課
自転車購入費補助金制度	補助金交付件数（54 件）	都市計画課
自転車の利用啓発	広報あんじょうに特集を掲載 子ども向け自転車教室を開催 サイクルフェス in 安城 2017 を開催	都市計画課

1222 自転車利用のためのインフラ整備

事業名	実績	担当課
有料自転車駐車場の管理運営	2 箇所	維持管理課
自転車走行空間の整備	市道安城三河安城線 市道今池篠目3号線 市道大役田伝左線で実施	都市計画課
レンタサイクルの運営	レンタサイクル利用者数 （6,578 人）	都市計画課

（２）適切な交通手段の選択 ③公共交通機関の利用促進

【成果指標】

指標名	現状値（平成29年度）	目標値（平成32年度）
公共交通機関に対する満足度	51%	54%
指標の見方		
公共交通利用に対する市民の意識と、公共交通の利便性を示すものです。		

【各施策における事業の進捗状況】

1231 公共交通の利用促進

事業名	実績	担当課
あんくるバスの運行	あんくるバス利用者数 (586,097 人)	都市計画課
あんくるタクシーの運行	あんくるタクシー利用者数 (395 人)	都市計画課
あんくるバス・あんくるタクシーの乗車 啓発	夏休みに小学生を対象に料金無料 キャンペーンを実施	都市計画課

1232 パークアンドライドの推進

事業名	実績	担当課
有料自動車駐車場の運営	14箇所	維持管理課

(3) 環境と調和した事業活動の促進 ①事業者の取組み支援

【成果指標】

指標名	現状値（平成29年度）	目標値（平成32年度）
環境配慮に関する行動や事業活動を行った事業者数	74件	80件
指標の見方		
事業者の環境マネジメントシステム更新・取得に対する支援件数です（当該年度を含む直近3年度の合計）。事業者が、環境マネジメントシステムの取得及び更新をすることで、産業部門の環境負荷低減につながります。		

【各施策における事業の進捗状況】

1311 環境配慮型製品の開発・販売支援

事業名	実績	担当課
中小企業コーディネーターによる企業訪問	訪問企業数（79社）	商工課
中小企業の設備投資を促進するための補助制度	申請件数（271件）	商工課
展示会出展事業補助事業 （がんばる中小企業応援事業補助金）	申請件数（67件）	商工課

1312 環境へ配慮する事業者への支援

事業名	実績	担当課
ISO等認証取得・更新事業補助金 （がんばる中小企業応援事業補助金）	直近3年間の申請件数 （74件、うち8件新規）	商工課

3.2 暮らしと自然を守るまちをつくる

（１）快適な暮らしの実現 ①公害の防止

【成果指標】

指標名	現状値（平成29年度）	目標値（平成32年度）
大気、騒音、ダイオキシン類に係る環境基準達成箇所数	12箇所	12箇所
指標の見方		
市内における公害に関する環境基準を満たしている地点の箇所数を示します。測定業務の見直しにより観測地点が19箇所から12箇所となりました。観測地点の内訳は大気2箇所、騒音（自動車騒音）8箇所、ダイオキシン類2箇所です。なお、騒音については要請限度に基づき達成判断をしました。		

【各施策における事業の進捗状況】

2111 発生源対策の推進

事業名	実績	担当課
事務所に対する環境保全講習会の実施	実施回数（1回・44団体）	環境都市推進課
工業団地造成事業	適切な事業管理の実施	商工課

2112 監視と啓発の徹底

事業名	実績	担当課
野焼きに関する啓発	町内会への啓発（3回） 公害苦情件数（88件）	環境都市推進課

(1) 快適な暮らしの実現 ②安全・安心で快適な生活環境の向上

【成果指標】

指標名	現状値（平成29年度）	目標値（平成32年度）
安城市を、環境に関するマナーがよいまちと感じる人の割合	3.7%	20%
指標の見方		
安城市の優れた特徴として「ポイ捨て禁止などのさわやかマナー」を挙げる人の割合を示しています。		

【各施策における事業の進捗状況】

2121 環境美化の推進

事業名	実績	担当課
安城市さわやかマナーまちづくり条例	啓発回数（2回）	環境都市推進課
地域クリーン推進員制度	全町内会で運用	ごみゼロ推進課
安城市ポイ捨て及びふん害の防止に関する条例に基づく環境美化	安城七夕まつり会場及びJR安城駅、養下公園及びその周辺で啓発を実施	ごみゼロ推進課
アダプトプログラムに基づく美化活動	活動団体（55団体）	ごみゼロ推進課
公園愛護会及び街路樹愛護会による清掃や除草等	年間を通じて実施	公園緑地課
町を美しくする運動	一斉清掃実施回数（のべ147回）	ごみゼロ推進課

2122 都市機能の向上

事業名	実績	担当課
JR安城駅南側、名鉄桜井駅周辺の土地 区画整理	実施	南明治整備課 区画整理課
災害用マンホールトイレの設置	設置箇所数（0件） 委託設計（16箇所）	危機管理課
感震ブレーカーの設置促進のため、設置 費用の助成	補助金交付件数（4件）	危機管理課
調整池の設計と整備工事	基本設計：貯留容量 5,900 m ³ 工事：貯留容量 3,000 m ³	土木課

（１）快適な暮らしの実現 ③緑あふれる美しい都市景観づくり

【成果指標】

指標名	現状値（平成29年度）	目標値（平成32年度）
樹高が3m以上になる樹木の本数	141,235本	148,000本
指標の見方		
かつて草地だったため樹林の少ない本市では、大木は貴重な存在です。植樹した樹木が大きく育っていることを示します。		

【各施策における事業の進捗状況】

2131 景観を害する要素の除去

事業名	実績	担当課
景観を害する屋外広告物(はり紙)の除却	除却数（106 枚）	維持管理課
放置自転車の撤去	撤去台数（163 台）	維持管理課

2132 緑地の維持・管理

事業名	実績	担当課
樹林保全地区、保護樹木の指定及び指定された保全地区等の保全に必要な費用の助成	保全地区面積（117,408 ㎡） 保護樹木本数（97 本）	公園緑地課

2133 緑化の推進

事業名	実績	担当課
ガーデニング・みどりのカーテン・オープンガーデンコンテスト	参加者数（54 人） 表彰式を 11 月 24 日に開催	公園緑地課
都市緑化推進事業補助金制度	補助金交付決定件数（4 件）	公園緑地課
生垣設置等奨励補助金制度	補助金交付決定件数（5 件）	公園緑地課
緑化木配布	配布回数（2 回）	公園緑地課

(2) 自然との共生 ①生物多様性の保全

【成果指標】

指標名	現状値（平成29年度）	目標値（平成32年度）
生物多様性に関する活動を実施した回数	18回	25回
指標の見方		
市や環境活動団体等が実施する生き物調査や生物多様性に関する活動の実施回数です。生き物への関心の高さを示します。		

【各施策における事業の進捗状況】

2211 自然に親しむ機会の創出

事業名	実績	担当課
セミの抜けがら調査	参加人数（のべ 636 人）	環境都市推進課

2212 生物多様性に関する啓発

事業名	実績	担当課
生物多様性についての啓発	実施回数（40 回）	環境都市推進課
外来生物の危険性についての啓発	実施回数（8 回）	環境都市推進課

(2) 自然との共生 ②水辺の環境保全

【成果指標】

指標名	現状値（平成29年度）	目標値（平成32年度）
各河川における水質（BOD値）及び油ヶ淵の水質（COD値）の環境基準達成箇所	20箇所	21箇所
指標の見方		
水質に対する環境基準を満たしている地点の箇所数を示します。観測地点は全21箇所です。		

【各施策における事業の進捗状況】

2221 生活排水の改善

事業名	実績	担当課
浄化槽設置補助金制度	補助金交付決定件数（130件）	環境都市推進課
下水道への接続の促進	接続依頼文書発送数（2,006通） 戸別訪問実績（588件） 水洗化率（接続率）（91.7%）	下水道課
下水道整備の推進	主要下水道本管整備工事件数（7件） 下水道普及率（79.0%）	下水道課
水質の環境監視	実施回数（132回）	環境都市推進課
小学校への下水道「出前講座」	開催校数（11校、28クラス）	下水道課

2222 水辺への関心の向上

事業名	実績	担当課
川と海のクリーン大作戦 （矢作川河川敷の清掃活動）	雨天により中止	維持管理課
油ヶ淵浄化デーの実施	参加者数（1,489人）	環境都市推進課

(3) 農のある暮らしづくり ①農に親しむ環境づくり

【成果指標】

指標名	現状値（平成29年度）	目標値（平成32年度）
地元農産物を意識して購入する人の割合	25.8%	24.5%
指標の見方		
地産地消がどの程度市民に浸透しているかを知る目安になります。		

【各施策における事業の進捗状況】

2311 農に触れる機会の創出

事業名	実績	担当課
アグリライフ支援センターの講座	野菜づくり入門コース（2回） スポット講座（6回）	農務課
ふれあい田んぼアートイベントの実施支援	田植え（5月）・鑑賞会（7月）の実施を支援	農務課

2312 地産地消の推進

事業名	実績	担当課
まちなか産直市への支援	実施回数（10回）	農務課
地産地消の啓発	地産地消をテーマにした紙芝居の開催数（13回）	農務課
学校給食における地元（碧海5市）農産物（青果物）の使用	学校給食における地元（碧海5市）農産物（青果物）の購入割合（42.3%） ※重量ベース	総務課

(3) 農のある暮らしづくり ②農と環境の保全

【成果指標】

指標名	現状値（平成29年度）	目標値（平成32年度）
エコファーマー認定人数（のべ）	348人	327人
指標の見方		
環境への負荷を低減する持続性の高い農業生産方式を導入した農業者の数を示します。		

【各施策における事業の進捗状況】

2321 農地の多面的機能の理解と活用の促進

事業名	実績	担当課
水田を利用した生物多様性の学習	実施回数（9回）	環境都市推進課

2322 農作業に伴う環境負荷の低減

事業名	実績	担当課
化学肥料、農薬の販売量調査	実施回数（1回）	農務課

3.3 資源が循環するまちをつくる

(1) 資源の循環 ①2R（リデュース・リユース）の推進

【成果指標】

指標名	現状値（平成29年度）	目標値（平成32年度）
2Rの啓発回数	36回	36回
指標の見方		
ごみを減らす取組みを広げるための様々な啓発活動の回数です。		

【各施策における事業の進捗状況】

3111 家庭ごみのリデュースの促進

事業名	実績	担当課
エコクッキング	実施回数（30回）	環境都市推進課

3112 ごみのリユースの促進

事業名	実績	担当課
再生家具等の販売	再生家具販売数（3,351件）	ごみゼロ推進課
七夕まつりで使用した竹を再利用	竹あかりイベント、竹炭	商工課

(1) 資源の循環 ②リサイクルの推進

【成果指標】

指標名	現状値（平成29年度）	目標値（平成32年度）
一般廃棄物の再生利用（リサイクル）率	21.1%	25.5%
指標の見方		
ごみの排出総量に占める資源の割合を示します。		

【各施策における事業の進捗状況】

3121 資源収集拠点・利用施設の運用

事業名	実績	担当課
市民協働活動による資源回収の支援（報償金の交付）	回収量（3,084 t）	ごみゼロ推進課
リサイクルステーションの運用	回収量（3,202 t）	ごみゼロ推進課
リサイクル施設の効率的運用	効率性に留意した運用・処理	ごみゼロ推進課
資源ステーションでの古紙・古着の収集	回収量（1,197 t）	ごみゼロ推進課
せん定枝リサイクルプラントの運用	たい肥化計画量の適正処理	ごみゼロ推進課

3122 市の事業におけるリサイクル推進

事業名	実績	担当課
ごみ焼却灰の資源活用	焼却灰溶融量（1,016t）	ごみゼロ推進課
給食調理場の残さの処理	バイオガス発電により活用	総務課

(2) ごみ減量の推進 ①ごみ分別、減量の徹底

【成果指標】

指標名	現状値（平成29年度）	目標値（平成32年度）
1人1日あたりの最終処分量	88.5g	88g
指標の見方		
ごみを処理した後の埋め立て処分する量を人口1人1日あたりに換算した数値です。		

【各施策における事業の進捗状況】

3211 ごみ減量の徹底

事業名	実績	担当課
EM ぼかし配布	配布数（26,700 個）	ごみゼロ推進課
ダンボールコンポストの講習会	実施回数（1 回） 参加人数（のべ 2 人）	ごみゼロ推進課
家庭用乾燥式生ごみ処理機モニター制度の啓発	清掃だより、安城ホームニュースに記事掲載	ごみゼロ推進課
乾燥生ごみと野菜やトイレトペーパーの交換	交換持ち込み量（4,137kg）	ごみゼロ推進課
生ごみ処理機器購入補助金制度	補助金交付台数（111 台）	ごみゼロ推進課
産業廃棄物の混入を抑制	搬入物検査回数（23 回） 検査車両数（のべ 107 台）	ごみゼロ推進課

3212 活動の支援

事業名	実績	担当課
ごみ減量推進市民活動支援プログラム	支援団体数（41 団体） 参加人員（20,000 人） 啓発物品提供数（19,000 個）	ごみゼロ推進課
環境アドバイザー・環境学習施設等による2R（リユース、リデュース）啓発	実施回数（91 回）	環境都市推進課

(3) 水循環の保全 ①水資源の保全と意識の向上

【成果指標】

指標名	現状値（平成29年度）	目標値（平成32年度）
水源地である長野県根羽村に対する市民の認知度	28.6%	50%
指標の見方		
安城市にとっての主な水源地である長野県根羽村に対する市民の認知度を示しています。根羽村を知ることが、水源に対する意識の向上につながります。		

【各施策における事業の進捗状況】

3311 水源の森への意識の向上

事業名	実績	担当課
根羽村植樹祭への参加市民公募	参加人数（43 人）	財政課
矢作川水源の森の案内看板	看板 1 箇所を新しく取り替えた	財政課
わくわくネイチャースクール	実施回数（2 回） 参加人数（96 人）	環境都市推進課
野外教育活動（自然教室）	参加学校数（8 校）	学校教育課

3312 明治用水に関する学習の推進

事業名	実績	担当課
明治用水を学ぶ環境学習講座	実施回数（8 回）	環境都市推進課

3.4 市民みんなが行動するまちをつくる

(1) 次代につなぐ人づくり ①環境学習の推進

【成果指標】

指標名	現状値（平成29年度）	目標値（平成32年度）
環境に関するイベントや講座への参加率	5.3%	20%
指標の見方		
市民の環境に関するイベントや講座への参加率を示します。		

【各施策における事業の進捗状況】

4111 環境学習の推進

事業名	実績	担当課
リサイクルプラザ、クリーンセンターにおけるクリーンバス事業（小学4年生）	実施数（21 校） 人数（1,934 人）	ごみゼロ推進課
明治用水開削に関する学習（小学校4年生）	学習実施学校数（21 校）	学校教育課
保育園・幼稚園での環境学習の実施	実施園数（27 園）	保育課
児童センターでの環境学習の実施	実施箇所数（9 箇所）	子育て支援課
かがくのひろば開催	環境に関する作品展示数 91 点 ※健幸部門の中から環境に関するものを抜粋した作品数	学校教育課
環境教育に関する指導の計画	指導計画立案校数（29 校）	学校教育課
こどもぐるぐるゼミナール	実施回数（1 回）	環境都市推進課

（２）参加と協働の推進 ①多様な主体による環境活動の推進

【成果指標】

指標名	現状値（平成29年度）	目標値（平成32年度）
協働による環境づくりに対する満足度	12.5%	60%
指標の見方		
環境学習施設を活用した環境学習や、環境団体・環境アドバイザーとの協働による講座やイベント等、多様な主体が実施する環境活動に対する市民の満足度を示しています。		

【各施策における事業の進捗状況】

4211 多様な主体との連携

事業名	実績	担当課
環境団体との連携	安城市以外の主体が運営する施設と連携した活動回数（7回）	環境都市推進課
秋葉いこいの広場環境学習センターで環境学習講座・イベント	参加人数（のべ 2,900 人）	環境都市推進課
環境アドバイザー制度	講座実施回数（50 回）	環境都市推進課
地球温暖化対策地域協議会エコネットあんじょうとの協働事業	講座実施回数（23 回） 参加人数（のべ 2,000 人）	環境都市推進課

第4章 地球温暖化対策実行計画（区域施策編）

4.1 地球温暖化対策実行計画について

特例市以上の地方自治体には、区域全体から排出される温室効果ガス削減に向けた計画の策定が義務付けられています。安城市は、義務化の対象ではありませんが、地球温暖化対策実行計画（区域施策編）（以下実行計画）を策定しています。

現行の実行計画は、環境基本計画に内包する計画として、平成28年4月に改定したものです。なお、目標年度は、環境基本計画に合わせ平成32年度（2020年度）としています。

4.2 安城市域における温室効果ガス排出量の現状値

実行計画では、最も排出量が多く、多くの人が関わることから人々の努力で削減可能な二酸化炭素を温室効果ガスとして扱っています。

把握対象となる 発生源	対象部門		二酸化炭素排出量（単位：千 t-CO ₂ ）		
			基準値 平成 25 年度	基準年度比	最新値 平成 27 年度
エネルギー起源	産業部門	製造業	1,087.9	100%	1,089.1
		建設業・鉱業	24.9	59%	14.7
		農林水産業	3.9	449%	17.5
	民生家庭部門		251.8	94%	237.3
	民生業務部門		305.1	76%	230.5
	運輸部門	自動車	339.7	96%	325.8
		鉄道	14.8	82%	12.1
非エネルギー起源	廃棄物部門	一般廃棄物	23.3	71%	16.6
計			2,051.5	95%	1943.6

4.3 安城市域における温室効果ガス排出量の削減目標

平成 25 年度 （2013 年度）	平成 27 年度 （2015 年度）	平成 32 年度 （2020 年度）	平成 42 年度 （2030 年度）
2,051.5 千 t-CO ₂ （基準年度）	平成 25 年度比 5.3%減 1943.6 千 t-CO ₂ （最新値）	平成 25 年度比 10.7%減 1,832 千 t-CO ₂ （短期目標）	平成 25 年度比 26.0%減 1,518 千 t-CO ₂ （長期目標）

4.4 安城市のエネルギーに関する目標

温室効果ガス排出量の大部分はエネルギー消費によるものであることから、安城市では、エネルギーに関する独自の目標を設定し、進捗管理しています。

また、温室効果ガス排出量の削減につながる取組みとしては、第3章で記載したすべての基本的施策が対象です。

目標1	現状値（平成29年度）	目標値（平成32年度）
1人1日あたり家庭用電気使用量	5.44kWh	5.47 kWh
目標2	現状値（平成29年度）	目標値（平成32年度）
市内での再生可能エネルギーによる発電容量の合計	45,491kw	66,000kw
目標3	現状値（平成29年度）	目標値（平成32年度）
安城市内における次世代自動車普及台数	168台	500台

=====

安城市 環境部 環境都市推進課

〒446-8501 愛知県安城市桜町18番23号

TEL：0566-76-1111（代表）

FAX：0566-76-1112

=====